

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	1単位 保育実習	保育実習指導Ⅲ	鈴木 勲	2年次	秋

授業のキーワード	施設実習、職業倫理、アセスメント技術
授業の概要	施設実習の目的、内容、意義を理解し、受講者が実習に向けて目的意識を高め、課題を持って実習に参加できるように、観察や記録に関する指導、実習計画の組み立て方、実習報告書の作成方法など、実習を円滑にするための基本的な知識技能の習得を目指します。また、職業人として必要なマナーなども学び身に付け、併せて、事前、事後の学習や実習体験を振り返り、施設の機能や保育者の職責などについても総合的に学ぶことを目的とする。なお、本教科は、社会的養護、保育実習ⅠB事前事後指導及び保育実習ⅠBの単位修得及び施設養護もしくは子どもの虐
期待される学習成果（目標）	1.施設実習の目的、内容、意義を理解する。 2.観察や記録に関する技術、実習計画の組み立て方や実習報告書の作成方法などを学ぶ。 3.保育実習ⅠBでの各自の課題を踏まえた実習となるように援助技術などの向上を目指す。 4.専門職と求められる職業倫理を学ぶ。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	実習指導の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。	第9講	実習にあたっての心構え	守秘義務や人権意識、職業倫理などについて学ぶ。
第2講	施設実習の進め方	施設の理解と施設実習の一日を学ぶ。	第10講	実習に向けての準備諸注意	健康管理・安全対策についての理解を深める。
第3講	実習における実習生の立ち位置の確認	実習生の心構えや実習マナー、守秘義務、職業倫理について学ぶ。	第11講	事後指導（1）	実習の振り返り及び実習先へのお礼状について
第4講	施設実習の基本的な考え方	ゲストスピーカーとして、最前線の現場で実践をしている施設職員から実習に関する講話を受ける。	第12講	事後指導（2）	実習報告書の書き方を学ぶ。
第5講	実習計画の立て方（1）	実習計画の組み立て方を学び、実習計画書の作成を行う。	第13講	事後指導（3）	実習全体の総括を行う。
第6講	実習計画の立て方（2）	実習計画書の報告会により、各自の実習計画の内容を深める。	第14講	まとめ	本講義全体のまとめと振り返りを行う。
第7講	実習日誌の書き方（1）	子どもの観察の視点を中心に学ぶ。	第15講	実習報告会	実習報告会を実施する。
第8講	実習日誌の書き方（2）	記録の方法やアセスメント技術を身に付ける。	定期試験		施設実習の振り返りを目的としたレポートの提出を求める。
評価方法		学期末のレポート50%、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50%により、総合的な評価を行う。詳細については、初回の授業で説明を行う。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
参考資料については、特に指定せず、講義の中で毎回配布する。			随時、授業中に紹介する。		